

医療機関と地域の 連携方法一覧

令和3年1月

「医療機関と地域の連携方法一覧」は、医療機関と地域の医療・介護関係者が、スムーズに連携できるよう医療機関(病院)の連絡先等をまとめたものです。松江市入退院連携ガイドライン(令和元年11月発行)と併せてご活用下さい。

【目次】

各医療機関の連携方法

松江医療センター	1	鹿島病院	7
玉造病院	2	こなんホスピタル	8
松江市立病院	3	青葉病院	9
松江赤十字病院	4	八雲病院	10
松江生協病院	5	安来第一病院	11
松江記念病院	6		

資料

松江医療センター「退院支援の流れ」	...12
松江赤十字病院「退院支援フロー図」	...13
松江生協病院「せいきょうサポートセンター」	...14

国立病院機構松江医療センター

2021.1

代表	電話番号	21-6131	FAX番号	27-1019
病床数	総数(340床): 一般病床(328床) 結核病床(12床)			
地域医療連携室	電話番号	24-7671	FAX番号	24-7661
相談員の人数	8人(NS6名、MSW2名)	担当の病棟の有無	その時の担当人数により流動的です	

外来患者相談窓口

外来予約窓口	地域医療連携室・予約センター	電話番号	25-1099 (13:00～16:00)
医療情報(主治医の意見)入手方法	連絡先: 地域医療連携室	方法	連絡票

入院患者相談窓口

入院時の情報の提出先	地域医療連携室(病棟に持っていき地域医療連携室に回りデータ入力) 訪問看護情報提供を封書で届ける場合には地域医療連携室宛て		
入院時の必要な情報	氏名・生年月日・住所・電話番号・介護保険情報および必要なケア		
病状等の 確認方法	主治医	病棟へ連絡・連絡票(方法: 電話・医師とケアマネジャー連絡票)	
	訓練室、病棟	病棟又は訓練室へ連絡(方法: 電話)	

退院時の相談窓口

退院時のサマリー等の提供依頼方法	地域医療連携室・病棟
退院カンファレンス	地域医療連携室・病棟(各病棟で退院調整NSやMSWの担当あり)
退院後のフィードバック	地域医療連携室

各種書類の依頼について

介護保険主治医意見書依頼窓口	地域医療連携室(外来・入院すべて文書で) TEL24-7671 FAX24-7661
訪問看護、訪問リハビリ、デイケアの 情報提供書(指示書)依頼窓口	地域医療連携室(方法: 文書) TEL24-7671 FAX24-7661

病院の特徴

昭和46年に旧国立島根療養所と旧国立療養所松江病院の2施設が統合して発足した施設であり、以後一貫して国の政策医療機関として地域の医療需要に密着した機能を発揮している。平成16年4月より国立病院機構に独立行政法人化してからも、次の4つの医療を中心に全県的特色を持つ専門医療施設としての役割を果たしている。 1.呼吸器疾患医療 山陰地方の呼吸器医療のリーダーシップをとり、平成17年6月には呼吸器センターを設立。肺がんはもとより肺気腫(COPD)等の慢性呼吸器疾患、結核を含む呼吸器感染症、睡眠時無呼吸症候群、自然気胸、慢性及び急性の呼吸不全、じん肺(アスベスト症を含む)など全ての呼吸器疾患治療を行っている。また、肺がんや肺がん検診に積極的に参加する等、肺がんの早期発見・治療成績向上に貢献し島根県より「がん診療連携拠点病院に準ずる病院」の指定を受けている。 2.結核医療 島根県の結核拠点病院として県内全域及び鳥取県西部の最終入院施設としての任務を果たしている。また、保健所や市町村との連携、講演会、研修会、結核審査会等通して結核の早期発見、治療に努めている。 3.神経難病 島根県難病診療分野別拠点病院(神経)としてALSを中心とした重症患者を筋受け入れている。筋ジストロフィー医療は山陰地方唯一の施設であり、神経難病、筋ジストロフィー症の専門、拠点病院として関連機関との連携を強化している。 4.重症心身障害児(者)医療 島根県に3施設あり、その中核病院として関連機関との連携を図っている。また、在宅医療サービスについても取り組んでいる その他・・・1～4の出前講座行っている。地域連携係長へ連絡。 要望・・・担当の利用者への面会時は伝えたいこと等あり連携を取りたいため、必ず詰所に声をかけてほしい。	
--	--

JCHO 玉造病院

代表	電話番号	62-1560	FAX番号	62-2546
病床数	総数 214床 : 一般 75床 回復期 89床 地域包括 50床			
相談室	電話番号	62-1560(代)	FAX番号	
地域連携室	電話番号	62-1591	FAX番号	62-1579
相談員の人数	3名	担当の病棟の有無	有	無

外来患者相談窓口

外来予約窓口	地域医療連携室(他院からの紹介)個人予約は各外来	電話番号	
医療情報(主治医の意見)入手方法	地域医療連携室へFAX 方法:文書		

入院患者相談窓口

入院時の情報の提出先	医療福祉相談室・地域医療連携室		
入院時の必要な情報	ケアマネジメント経過など		
病状等の 確認方法	主治医 訓練室、病棟	相談員へ連絡	

退院時の相談窓口

退院時のサマリー等の提供依頼方法	相談員へ連絡
退院カンファレンス	
退院後のフィードバック	地域医療連携室

各種書類の依頼について

介護保険主治医意見書依頼窓口	医事課 FAXは地域医療連携室 62-1579
訪問看護、訪問リハビリ、デイケアの情報提供書(指示書)依頼窓口	地域医療連携室

病院の特徴

- ・人工関節手術、脊椎手術など数多く行い、整形外科疾患の患者様が多く入院される病院です。また、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟があり、急性期病院での治療を終えた患者様の転院も受け入れ、多職種で連携し、在宅復帰に向けた支援を行っています。
- ・大腿骨頸部骨折地域連携パス、脳卒中地域連携パスの回復期病院として受け入れをしています。

松江市立病院

代表	電話番号	60-8000	FAX番号	60-8009
病床数	470床 一般病床7:1 394床(感染症病床 4床) 精神病床50床 ICU4床 緩和ケア病床22床			
相談室	電話番号	60-8083	FAX番号	60-8009
相談員の人数	MSW 7人 Ns 2人		担当の病棟の有無	有 無

外来患者相談窓口

外来予約窓口	紹介状がある場合のみ地域連携室	電話番号	60-8083
医療情報(主治医の意見)入手方法		医療相談室	

入院患者相談窓口

入院時の情報の提出先		医療相談室 (訪問看護情報提供について封書で届ける場合は宛先を「医療相談室」と記入)
入院時の必要な情報		医療相談室
病状等の 確認方法	主治医 訓練室、病棟	医療相談室へ連絡(方法:ケースバイケースで面談)

退院時の相談窓口

退院時のサマリー等の提供依頼方法	医療相談室へ連絡(方法:電話)
退院カンファレンス	医療相談室
退院後のフィードバック	医療相談室(担当者)

各種書類の依頼

介護保険主治医意見書依頼窓口	医療相談室(外来・入院すべて文書で) TEL 60-8083 FAX 60-8009
訪問看護、訪問リハビリ、デイケアの情報提供書(指示書)依頼窓口	医療相談室(訪問看護・訪問リハビリ) その他は1番文書受付

病院の特徴

高度急性期・急性期病院です。がんセンターを併設しています。緩和ケア病棟、精神科病棟があります。入院時に推定入院期間などが記載されている「入院診療計画書」が患者さんに渡されます。退院支援が必要な患者さんについて、入院早期からの抽出と退院支援計画を作成し、各病棟ごとに週1回の多職種カンファレンスを実施しています。その際にケアマネジャーからの情報提供書を参考にさせていただきます。

松江赤十字病院

代表	電話番号	24-2111	FAX番号	
病床数	総数 546床 一般病棟 499床 精神病棟 45床 第一種感染症 2床(R元年9月現在)			
相談室	電話番号	32-6901	FAX番号	24-3296
相談員の人数	8人	担当の病棟の有無	有	無

外来患者相談窓口

外来予約窓口	予約センター	電話番号	20-6600
ケアマネジャー 障がい福祉相談支援専門員	医療情報(主治医の意見) 入手方法	連絡先: 医療社会事業課 方 法: 医師とケアマネジャーの連絡票 (本人・家族の同意を前提)	
訪問看護	文書で報告したい	地域連携課(FAX27-9261)	
	電話で相談したい	各科外来あるいは患者相談(TEL24-2111)	

入院患者相談窓口

入院時の情報の提出先	医療社会事業課 (TEL 32-6901 FAX 24-3296)		
入院時の必要な情報	基本情報・情報提供書など		
病状等の確認方法	主治医	個々のケースで対応が異なるため 病棟担当の相談員に御相談下さい	
	訓練室、病棟		

退院時の相談窓口

退院時のサマリー等の提供依頼方法	退院時の状況や入院期間により対応が異なります 病棟の担当相談員へ御相談下さい
退院カンファレンス	
退院後のフィードバック	病棟の担当相談員

各種書類の依頼

介護保険主治医意見書 依頼窓口	外来患者の場合	医療社会事業課(FAX 24-3296)
	入院中の患者の場合	病棟担当相談員(FAX 24-3296)
訪問看護、訪問リハビリ、デイケアの情報提供書(指示書)依頼窓口・訪問看護の月次報告		文書受付

病院の特徴

拠点病院(エイズ・災害・地域がん診療)地域周産期母子医療センター、地域医療支援病院、救急救命センター、DPC実施
入院時スクリーニングを行いチェックあれば入院時カンファレンスを1週間以内に行っている。また入退院を繰り返すケースやCMからの情報提供から必要と考えたケースは入院時カンファレンスを行っている。 地域連携室・・・外来対応、事務手続き等が主な役割

松江生協病院

代表	電話番号	23-1111	FAX番号	
病床数	一般病棟(7:1 129床、障がい者等 60床) 189床 回復期 57床 地域 包括ケア 58床 医療療養 40床			
相談室	電話番号	22-1614	FAX番号	24-1578
地域連携室	電話番号	60-9077	FAX番号	60-9078
相談員の人数	7人+ NS 5人	担当の病棟の有無	有 (一部)	無

外来患者相談窓口

外来予約窓口	予約専用フリーダイヤル	電話番号	0120-201304
医療情報(主治医の意見)入手方法	連絡先: サポートセンター事務局(67-6463) 方 法: 原則受診同行(本人または家族了承のうえ)		

入院患者相談窓口

入院時の情報の提出先	サポートセンター事務局 (TEL 67-6463 FAX 24-1578)		
入院時の必要な情報	介護サービス等の利用状況・退院前カンファレンスの開催要望		
病状等の確認方法	主治医	本人又は家族への病状説明時に同席(本人または家族了承のうえ) サポートセンター事務局に連絡、調整します	
	訓練室 病棟	電話や面談を依頼(本人または家族了承のうえ) サポートセンター事務局に連絡、調整します	

退院時の相談窓口

退院時のサマリー等の提供依頼方法	サポートセンター事務局 (TEL 67-6463 FAX 24-1578)
退院カンファレンス	適宜実施 (開催依頼を連絡して下さい)
退院後のフィードバック	サポートセンター事務局 (TEL 67-6463 FAX 24-1578)

各種書類の依頼

介護保険主治医意見書依頼窓口	外来	のぞみ在宅支援センター(TEL 55-8460 FAX 55-8435)
	入院	サポートセンター事務局 (TEL 67-6463 FAX 24-1578)
訪問看護、訪問リハビリ、デイケアの 情報提供書(指示書)依頼窓口	サポートセンター事務局 (TEL 67-6463 FAX 24-1578)	

病院の特徴

- ・急性期病棟(7:1、DPC)とともに回復期リハ病棟、地域包括ケア病棟、医療療養病棟、障害者施設等入院基本料の病棟を有する大型ケアミックスの病院です。
- ・2014年6月14日からサポートセンターを開設しました。地域連携室・居宅・相談室が一緒の場所に集まり事務局を置いて情報をマネージメントしています。問い合わせはまず事務局に一報ください。
- ・退院支援加算Ⅰを算定しています。入院3日以内に退院困難要因の抽出・1週間以内に面談・カンファを実施するため、ケアマネジャーからの情報が非常に重要です。早期(入院当日・翌日等)に情報をいただくと入院時の退院支援カンファレンスに反映できますので宜しくお願い致します。
- ・経済的な問題で患者になれないということがないよう2017年7月から無料低額診療事業を始めました。

松江記念病院

代表	電話番号	27-8111	FAX番号	27-8119
病床数	総数 116床 一般病棟 61床（うち地域包括ケア病棟 37床） 医療療養病棟 55床			
地域連携室	電話番号	29-0166	FAX番号	27-8435
相談員の人数	3人、入院支援Ns.1人	担当の病棟の有無		☒ 有 ☐ 無

外来患者相談窓口

外来予約窓口	地域連携課	電話番号	29-0166	FAX	27-8435
医療情報(主治医所見等)の入手方法	連絡先: 地域連携課 方 法: 文書依頼または受診時に同行				

入院患者相談窓口

入院時の情報提出先	地域連携課 ※来院時相談員に声をかけてほしい。 訪問看護情報提供について医師宛ての封書は直接医師に渡すので、病棟看護師には渡らない場合あり注意。		
入院時の必要な情報	医療情報、介護保険情報、方向性、生活状況、経済状況		
入院中の病状の確認方法	主治医 訓練室、病棟	地域連携課へ連絡(文書依頼または面談)	

退院時の相談窓口

退院時のサマリー等の提供依頼の方法	地域連携課へ連絡(電話連絡)
退院カンファレンス	必要時相談員より連絡。 ケアマネから情報提供があった場合は必ず連絡
退院後のフィードバック	地域連携課

各種書類の依頼

介護保険主治医意見書依頼窓口	地域連携課(外来・入院すべて文書で)
訪問リハビリ、訪問看護、デイケアの情報提供書(指示書)窓口	地域連携課

病院の特徴

医療一般病棟・地域包括ケア病床・医療療養病棟の3病床があります。機能の異なる病床で、多様な病態に対応しています。 緩和ケアを積極的に行い、その人らしい終末期のサポートに力を入れています。 また、リハビリテーション・栄養ケア・口腔ケア等を積極的に提供し、在宅生活への復帰を目指しています。 関連の介護施設の老人保健施設では積極的なリハビリテーションを、介護医療院では医療依存度の高い高齢者の対応を行っています。
--

医療法人財団公仁会 鹿島病院

代表	電話番号	82-2627	FAX番号	82-9221
病床数	総数 177床 特殊疾患病棟(一般病床) 60床 医療療養病棟 60床 (内訳 医療療養病床31床 地域包括ケア病床29床) 回復期リハビリテーション病棟 57床			
相談室	電話番号	82-9096	FAX番号	82-2639
相談員の人数	6人	担当の病棟の有無		有 無

外来患者相談窓口

外来予約窓口	医事受付(入院を希望される場合は医療相談部)	電話番号	82-2627
医療情報(主治医の意見)入手方法	①外来予約の上、主治医と面談 ②書面の依頼は医師とケアマネジャー連絡票を使用		

入院患者相談窓口

入院時の情報の提出先	医療相談部 封書の宛先は医療相談部	電話番号	82-9096
入院時の必要な情報	医療相談部を経て基本情報など		
病状等の確認方法	主治医	医療相談部へ連絡(方法:面談)	
	訓練室、病棟		

退院時の相談窓口

退院時のサマリー等の提供依頼方法	医療相談部へ連絡(方法:電話又は文書依頼)
退院カンファレンスについて	担当ケアマネジャーに原則として連絡している
退院後のフィードバック	医療相談部

各種書類の依頼

介護保険主治医意見書依頼窓口	外来患者	1階医事受付	電話	82-2627	fax	82-9221
	入院患者	医療相談部	電話	82-9096	fax	82-2639
訪問看護、訪問リハビリ、デイケアの情報提供書(指示書)依頼窓口				1階医事受付		

病院の特徴

・鹿島病院は特殊疾患、回復期、医療療養の機能をもった177床の回復期・慢性期の医療を提供する病院です。・相談員は5名体制です。 鹿島病院には ①急性期病院から患者を受け入れ、治療継続し、病状が安定した患者を在宅や施設へ退院支援すること ②地域で暮らす高齢者の病変に対応していくことが求められ「高齢者医療・リハビリテーション」に取り組んでいます。 ・入院中は、主治医、看護師、介護福祉士、栄養士、歯科衛生士、リハビリ担当、社会福祉士などの多職種チームで患者さんの療養生活を支え、退院に向けての支援をさせていただきます。 また、入院中は適宜多職種でのカンファレンスやご家族を交えた面談を行います。 地域連携にも積極的に取り組み、地域から求められる慢性期病院づくりを目指しています。

こなんホスピタル

代表	電話番号	66-0712	FAX番号	66-0711
病床数	総数147床 精神一般50床 精神療養50床 認知症治療病棟 47床			
相談室	電話番号	66-0712	FAX番号	66-0711
相談員の人数	3人(精神保健福祉士)、1人(看護師)	担当の病棟の有無		有 ☒ 無 ☐

外来患者相談窓口

外来予約窓口	① 外来 ②地域連携室	電話番号	66-0712
医療情報(主治医の意見)入手方法	連絡先: ①地域連携室 ②外来 方 法: 受診時同行		

入院患者相談窓口

入院時の情報の提出先	地域連携室		
入院時の必要な情報	かかりつけ医からの紹介状、ケアマネジャーからの情報提供書		
病状等の確認方法	主治医	地域連携室へ連絡(方法:面談・書面)	
	訓練室、病棟		

退院時の相談窓口

退院時のサマリー等の提供依頼方法	地域連携室へ連絡(方法:電話)
退院カンファレンスについて	全てケアマネに連絡している
退院後のフィードバック	地域連携室

各種書類の依頼

介護保険主治医意見書依頼窓口	地域連携室(外来・入院すべて文書で)
訪問看護、訪問リハビリ、デイケアの情報提供書(指示書)依頼窓口	地域連携室

病院の特徴

精神科病院として統合失調症やうつ病といった精神疾患はもちろん、アルコール関連問題、認知症における周辺症状に対しても専門的に携わっています。入院機能はもとより、ストレスケア外来・物忘れ外来・アルコール治療外来・減酒外来・ギャンブル外来なども設けております。また、精神科デイケア・老人保健施設・通所リハビリ・訪問看護ステーションも併設されており、連携して退院後の多様なニーズに応えていけるよう、地域に根ざした医療提供を目標としています。 令和2年10月より、島根県から認知症疾患に関する鑑別診断及び専門医療相談の実施など、地域での認知症医療提供体制の拠点となる「認知症疾患医療センター(連携型センター)」の指定を受けています。 [要望] 在宅支援をされている中で、認知症上の悪化、在宅生活の困難、飲酒問題等ございましたら、まずは地域連携室までお気軽にご相談ください。入院相談の際にはケアマネジャーからの情報(本人・家族の意向や今後の方向性等)をいただき、入院から退院までの支援、また退院後の支援につきましても引き続きご相談に応じさせていただきます。	
--	--

松江青葉病院

代表	電話番号	21-3565	FAX番号	21-0111
病床数	精神 (300床)			
地域連携室	電話番号	21-3565	FAX番号	21-0111
相談員の人数	6人(精神保健福祉士)	担当の病棟の有無		有 無

外来患者相談窓口

外来予約窓口	外来
医療情報(主治医の意見)入手方法	連絡先: 地域医療連携室(医療相談室) 方 法: 文書依頼あるいは受診同行

入院患者相談窓口

入院時の情報の提出先		病棟 地域医療連携室(医療相談室)
入院時の必要な情報		かかりつけ医からの紹介状、ケアマネージャーからの基本情報・情報提供書
病状等の 確認方法	主治医	地域医療連携室(医療相談室)
	訓練室、病棟	病棟

退院時の相談窓口

退院時のサマリー等の提供依頼方法	地域医療連携室(医療相談室)(方法: 文書依頼)
退院カンファレンス	必要時
退院後のフィードバック	地域医療連携室 TEL21-3565

各種書類の依頼

介護保険主治医意見書依頼窓口	外来	外来受付(TEL21-3565 FAX21-0111)
	入院	地域医療連携室(医療相談室)
訪問看護、訪問リハビリ、デイケアの情報提供書(指示書)依頼窓口		外来受付

病院の特徴

○精神科病棟のみ ○2018年4月より、島根県から「高次脳機能障がい 松江圏域相談支援拠点」と「高次脳機能障がい 東部地域支援拠点」として指定を受け、活動しています。 ○デイケアあおばにて高次脳機能障害デイケアもおこなっています(問い合わせ先電話: 21-2500) ○ギャンブル依存外来を設置しています。 ○当院外来通院中の方について主治医の指示があれば訪問看護も行っています。 ○令和2年10月より、島根県から認知症疾患に関する鑑別診断及び専門医療相談の実施など、地域での認知症医療提供体制の拠点となる「認知症疾患医療センター(連携型センター)」の指定を受けています。
--

医療法人 仁風会 八雲病院

代表	電話番号	23-3456	FAX番号	23-3495
病床数	総数 161床 一般精神 56床・・・急性期、集中ケア、措置対応 精神療養病棟 45床・・・慢性期、回復期、社会適応能力維持 認知症治療病棟 60床・・・認知症対応			
地域連携室	電話番号	23-3456	FAX番号	23-3495
相談員の人数	4人(精神保健福祉士)	担当の病棟の有無	有	無

外来患者相談窓口

外来予約窓口	外来	電話番号	23-3456
医療情報(主治医の意見)入手方法	連絡先: 外来または地域連携室 方 法: 電話または受診時同行		

入院患者相談窓口

入院時の情報の提出先		地域連携室
入院時の必要な情報		かかりつけ医があれば紹介状、ケアマネジャーからの情報提供書
病状等の 確認方法	主治医	地域連携室(方法:電話または面談)
	訓練室、病棟	地域連携室・病棟へ連絡(方法:電話または面談)

退院時の相談窓口

退院時のサマリー等の提供依頼方法	地域連携室(方法: 電話)
退院カンファレンス	・開催時は全てケアマネジャーに連絡 ・カンファレンスをしない場合やその他状況に応じて電話にて経過報告
退院後のフィードバック	地域連携室

各種書類の依頼

介護保険主治医意見書依頼窓口	外来	外来 (Tel:23-3456 Fax: 23-3495)
	入院	地域連携室 (Tel:23-3456 Fax: 23-3495)
訪問看護、訪問リハビリ、デイケアの情報提供書(指示書)依頼窓口		外来

病院の特徴

【病院の特徴】 ・精神科病棟161床の他、精神科・重度認知症の各デイケアを併設しています。当院通院中の方対象に精神科訪問看護を行います。 【要望として】 ・新型コロナウイルス感染対策のため、令和2年8月より外来を予約制とさせていただいております。新規の受診は急患含め事前にお電話でお問い合わせの上調整させていただきます。ご協力お願いいたします。

社会医療法人昌林会 安来第一病院

代表		電話番号	(0854)22-3411	FAX番号	(0854)23-2729
病床数		総数 381床 一般科(198床) ・地域包括ケア病棟(90床) ・回復期リハビリテーション病棟(48床) ・医療療養病棟(60床) 精神科(183床) ・精神科急性期治療病棟(42床) ・精神療養病棟(97床) ・認知症治療病棟(44床)			
相談係	一般科	電話番号	(0854)22-3495	FAX番号	(0854)22-3457
	精神科	電話番号	(0854)22-3411	FAX番号	(0854)22-3454
相談員の人数		13名		担当の病棟の有無	(有) 無

外来患者相談窓口

外来予約窓口	地域連携室にご連絡ください	電話番号	(0854)22-3495
医療情報(主治医の意見)入手方法	地域連携室にお問合せください		

入院患者相談窓口

入院時の情報の提出先	病棟相談員または地域連携室(本館・新館)	
入院時の必要な情報		
病状等の確認方法	主治医	地域連携室へお問い合わせ下さい
	訓練室、病棟	

退院時の相談窓口

退院時のサマリー等の提供依頼方法	病棟相談員または地域連携室へご連絡下さい。
退院カンファレンスについて	ケアマネジャーにご連絡します
退院後のフィードバック	地域医療連携室

各種書類の依頼

介護保険主治医意見書依頼窓口	外来受付
訪問看護、訪問リハビリ、デイケアの情報提供書(指示書)依頼窓口	地域連携室(新館・本館)

病院の特徴

・安来第一病院は、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、医療療養病棟、精神科急性期治療病棟、精神療養病棟、認知症治療病棟があります。一般科病床・精神科病床とも、疾患の治療とともに早期回復のため、また身体機能維持ため、各病棟にリハビリスタッフを配置し、リハビリの充実を図っています。急性期のリハビリから回復期、慢性期のリハビリまで、医療保険だけでなく介護保険のリハビリも実施しています。また人工透析、精神科デイケア、精神科訪問看護、訪問リハビリ(医療・介護)も実施しています。

・緩和ケアチームもあり、身体症状担当医、精神症状担当医はじめ、多職種で支援します。

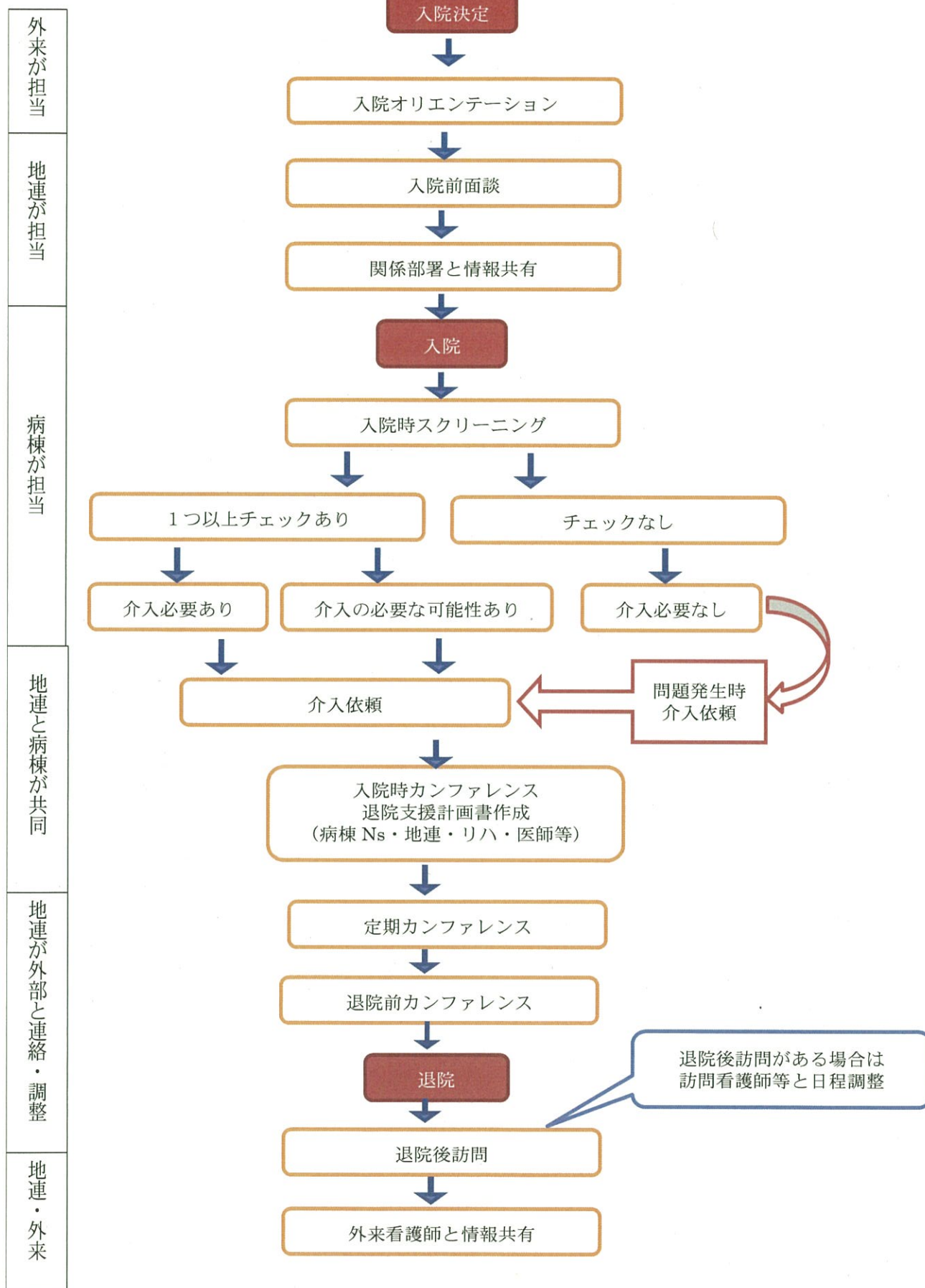
・在宅療養後方支援病院として、在宅やサービス付き高齢者住宅、有料老人ホーム等施設で療養しておられる患者様の急性増悪時の入院の受け入れを行っています。

・認知症疾患医療センターでは、認知症の鑑別診断、ご家族や関係機関の方からの専門医療相談、認知症に関する講演会等も行っています。

・住み慣れた地域で療養生活を支援できるよう介護保険サービスや障がい福祉サービスなど17事業所を運営しています。

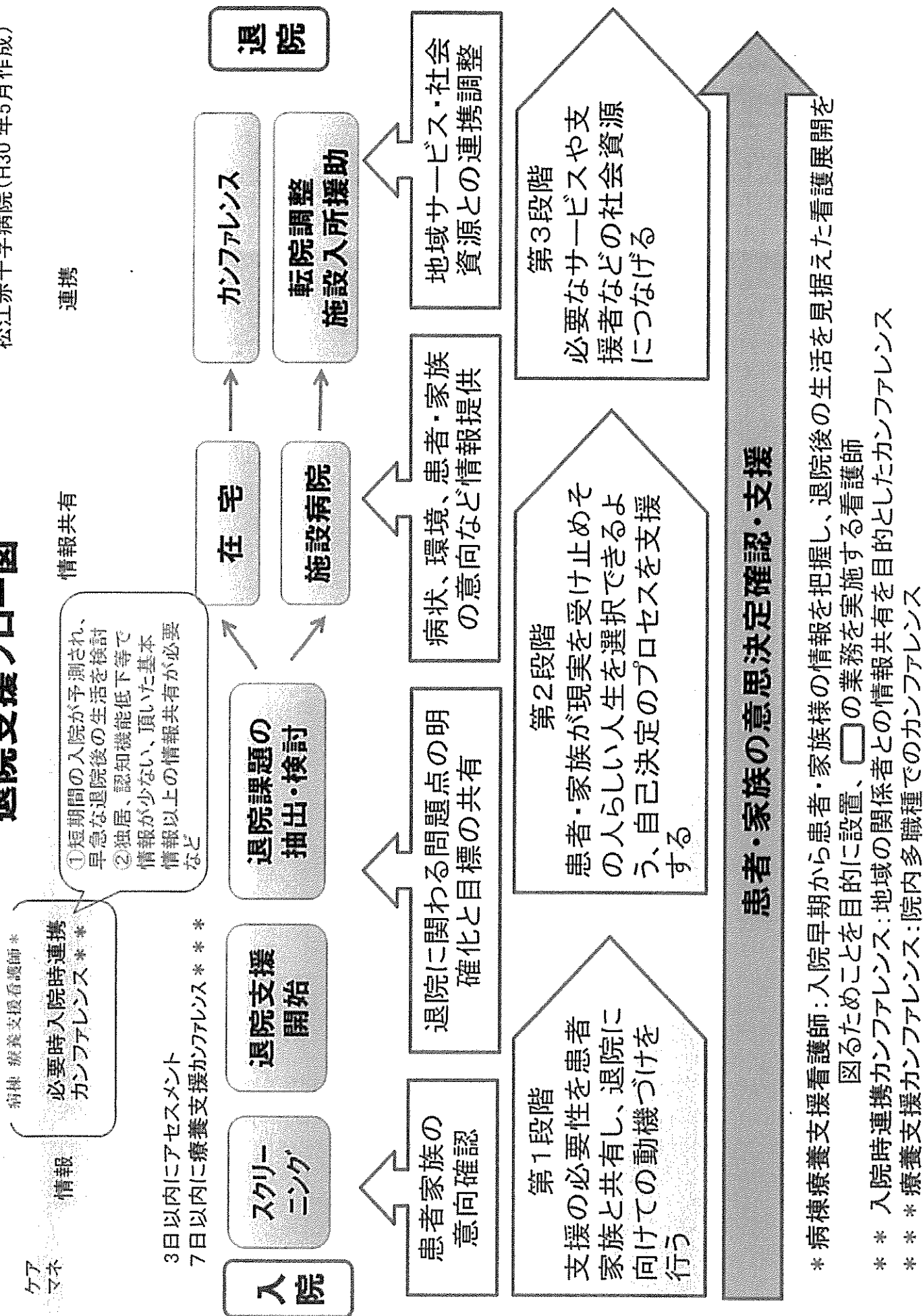
・受診、入院等ご相談は、地域連携室までご連絡ください。

松江医療センター 退院支援の流れ



退院支援フロー図

松江赤十字病院(H30 年5月作成)



* 病棟療養支援看護師：入院早期から患者・家族様の情報を把握し、退院後の生活を見据えた看護展開を図るためことを目的に設置、□の業務を実施する看護師

* 入院時連携カンファレンス：地域の関係者との情報共有を目的としたカンファレンス

* 療養支援カンファレンス：院内多職種でのカンファレンス

4つの部署が一体になりました。情報を共有し、連携をはかります！

「せいぎようサポートセンター」

☎ 60-9077
地域連携室 - FAX 60-9078

- 病病連携・病診連携
- 紹介状がある外来診療、CT・MRI 予約
- 退院調整看護師による退院支援、退院支援計画書の作成
- 病床管理

ケアマネの皆様、「医師との連絡票」等は、サポートセンター事務局で対応致します。

☎ 67-6463
サポートセンター事務局 - FAX 24-1578

- 地域の介護事業所との連携・調整
- ・ 「医師とケアマネの連絡票」対応
- ・ 各指示書依頼の処理

- 地域住民の相談窓口
- 法人内連携の調整（老健虹への転院窓口等）
- どこに相談したら良いのか分からない場合

の窓口
等々

退院支援

☎ 22-1614
医療福祉相談室 FAX 24-1578

- 療養中の医療費や生活費など経済的なことに関する相談
- 外来受診や入院に関わる相談
- 利用できる医療制度や福祉制度に関する相談
- MSWによる退院支援
- 施設入所に関わる相談
- 家庭復帰や職場復帰等々に関わる相談

医療機関
介護事業所
との連携

☎ 27-4890
のぞみ在宅支援センター FAX 55-8435

相談窓口

- 介護保険の相談（申請の代行、介護サービス内容の相談、住宅改修、福祉用具の購入）
- 主治医意見書依頼
- 担当利用者に关わる相談窓口
- 担当利用者の退院支援

法人内連携

等々

「医療機関と地域の連携方法一覧」

【改訂履歴】

平成20年	「医療機関とケアマネジャーの連携方法一覧」発行
平成30年9月12日	「医療機関と地域の連携方法一覧」へ改題
令和元年12月	入退院連携ガイドライン発行に伴い、「連携の在り方」「医療機能」削除
令和3年1月	更新

【協力】

松江地域介護支援専門員協会、松江市病病連携推進会議、松江市地域包括支援センター

【編集】

松江市在宅医療・介護連携支援センター